

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 008	提案機関名 農業振興課
要望問題名 大型直売センター間の農産物物流システム構築のための基礎的研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 全県展開されている大型直売センターでは、全体的に県産農産物が不足する傾向にある一方、季節や地域によって余剰となる農産物もあり、直売所間で過不足農産物の物流が課題となっている。 過不足農産物の物流システムを構築するために、直売所別、時期別の余剰、不足農産物について解析していただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	経営情報研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 「直売所間連携や出荷協力農家による品揃えの検討」(平成15年度)			
対応の内容等 当所成績書において直売所の不足品目と不足時期についてアンケート調査を元にとりまとめています。また、直売所の仕入れデータを元に、「地産地消販売チャネルの検証」(平成21年度)から地場農産物の供給の可能性をとりまとめています。 ここ数年設立された大型直売センターを拠点とした物流システムの構築のため、上記のデータや調査方法を元に、基礎的な解析は可能ですが、売り上げのデータや直売センター店長会議等の機会を利用しての情報収集が必要です。調査を実施される場合は協力いたします。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			